
炭素市場エクスプレス メールマガジン 第1号 (2017年10月26日発行)

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

「新メカニズム情報プラットフォーム」は炭素市場エクスプレスウェブサイトへ移行しました！今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

◇トピックス◇

■□ 新着コラム！

- COP23における炭素市場エクスプレス事務局のブース展示

■□ 事務局からのお知らせ

- モンゴルにおいて2回目のクレジットが発行されました
- パンフレット「Joint Crediting Mechanism～日本は世界の排出削減に貢献するため二国間クレジット制度（JCM）を実施しています Ver.2」を掲載しました

■□ イベント・セミナー情報

- COP23 ジャパンパビリオン・サイドイベント（11/9 JCM DAY）
-

「コラム」に、新しい記事をアップしました！

【コラム第38弾！】

◆COP23における炭素市場エクスプレス事務局のブース展示◆

これまで「新メカニズム情報プラットフォーム」事務局として JCM を紹介してまいりましたが、10月より「炭素市場エクスプレス」としてリニューアルしました！世界各地で導入・実施が進む炭素市場について、本ウェブサイトではとりわけ日本と17カ国のパートナー国が取り組む JCM を中心として、日本政府が進める各種情報をまとめておりますので、よろしくご愛顧ください。

さて、あと10日ほどで第23回気候変動枠組条約締約国会議、通称「COP23」が始まります。気候変動対策の原則を定めた気候変動枠組条約（UNFCCC）には、196か国・地域が加盟しており、毎年開催される締約国会議（COP）で実施細則を議論しています。

各国の交渉官に加え、研究者、NGO 代表など、数万人ともいわれる参加者が集まるこの会議においては、...

本投稿の写真など、続きは Facebook ページをご覧ください。（海外環境協力センター Facebook ページ）

⇒ <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

この投稿に「いいね！」してください！

「シェア」でさらに“友達”にご紹介ください！

こちらでもご覧いただけます。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/columns/>

◆モンゴルにおいて2回目のクレジットが発行されました◆

10月24日、日本とモンゴルで実施している二国間クレジット制度（JCM）において、2回目のクレジットが発行されました。これは、モンゴル国ダルハン市に10MWの太陽光発電を導入し、発電した電力をグリッドに送電することによって、温室効果ガスの排出削減を実現したプロジェクトであり、今回発行されたクレジット量は8,947トン（7カ月間）となり、本プロジェクトの累積削減量は約20万トンが見込まれています。

環境省ではこれまでに110件の排出削減・吸収プロジェクトを実施しており、これらの事業からの削減量は年間約65万トンと見込まれます。

<クレジットの発行状況>

- ・プロジェクト名：ダルハン市における10MW太陽光発電事業
- ・プロジェクト概要：首都ウランバートルの北方約230kmに位置するダルハン市近郊にある110kV変電所の隣接地に、10MW規模の太陽光発電プラントを建設し、発電した電力をグリッドへ送電して、CO₂排出量を削減するものである。
- ・クレジット発行対象期間：2017年1月1日～2017年7月31日（7カ月）
- ・クレジット発行量（うち日本政府への発行量）：8,947 tCO₂（6,263 tCO₂、70%）

環境省からの報道発表はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.env.go.jp/press/104705.html>

プロジェクト情報はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.jcm.go.jp/mn-jp/projects/22>

◆パンフレット「Joint Crediting Mechanism～日本は世界の排出削減に貢献するため二国間クレジット制度（JCM）を実施しています Ver.2」を掲載しました◆

環境省 JCM 資金支援事業活用プロジェクトを写真で紹介したパンフレットは、こちらをご覧ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/publications/>

◆COP23 ジャパンパビリオン・サイドイベント（11/9 JCM DAY）◆

11月9日（木）10:30-12:00

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）、国際連合大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）共催サイドイベント

「技術移転を通じた持続可能な開発目標（SDGs）の達成」

国際的な基金や二国間の資金支援スキームを通じて技術移転を促進することで、資金を多様化することができ、途上国のニーズに応えると同時に、持続可能な開発目標（SDG）の達成に寄与します。

本サイドイベントでは持続可能な開発を可能にする優良事例分析を UNU-IAS より共有した後、アジアにおける実例を紹介していきます。OECC からはベトナム NDC の低炭素技術調査及び、プロジェクト形成とベトナム全土への水平展開の経験を共有します。

プログラムはこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/en_info-2/en_info_event/y_2017/20171109-1/

11月9日（木）13:00-14:30

環境省/OECC 共催サイドイベント

「国が決定する貢献（NDC）の達成に向けた JCM の貢献」

JCM は国際的な市場メカニズムのひとつとして活発に運用されており、日本とパートナー国（17 か国）とが協力して構築、実施しています。JCM は温室効果ガス排出削減・吸収への貢献を定量的に評価するとともに、各国の NDC の削減目標の達成に活用されます。NDC の実施に際しどのような JCM プロジェクトが望ましいか？本サイドイベントではプロジェクト事業者やパートナー国政府をパネリストに迎え、JCM 実施に係る進捗や期待について議論します。

プログラムはこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/en_info-2/en_info_event/y_2017/20171109-2/

■□発行・編集□■

炭素市場エクスペンス事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <https://www.carbon-markets.go.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://www.carbon-markets.go.jp/contact/>

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。